

# 学生のアクティビティ①

## 私たち、第64回徽音祭実行委員会です!

11月9日(土)、10日(日)に開催される徽音祭(きいんさい)。徽音祭の開催の裏にはたくさんの徽音祭実行委員の努力が詰まっています。普段知ることのできない徽音祭の裏側を徽音祭実行委員のみなさんに聞いてきました。

Q1:どのような仕事を担当していますか?

Q2:実行委員をやるようになったきっかけは?また、実行委員をやっていてよかったと思ったことは?

Q3:徽音祭に来た方へ一言

- 1 企業からの協賛や、パンフレットへの広告掲載のお願い、パンフレットの編集、徽音祭全体の広報や装飾などを行っています。
- 2 渉外での仕事は「お茶大をPRする」仕事。なので、自分の所属している学部だけでなく、他学部や大学院のことなど、お茶大について広く知るきっかけにもなりました。お茶大のことをたくさん知る事で、愛校心も芽生え、実行委員をされていてよかったなと思います。お茶大は、共学校のように野球やラグビーの応援といった愛校心を高めるようなイベントがありません。だからこそ、徽音祭が愛校心を高めるきっかけとなるイベントになっているのではないかな、と思います。
- 3 徽音祭の資金や景品などは私たち実行委員が集めてきています。そういった見えないところを気にかけてもらえるとうれしいです。また、当日はTwitterで徽音祭の様子を配信します。こちらもチェックしてみてください!



渉外部局長 若林 佑希



総務部局長 大塚 七星

- 1 模擬店や展示などに必要なレンタル備品の貸出し、使用場所の割振り、電力や衛生面の管理など、徽音祭の中でも裏の裏の仕事を担当しています。
- 2 やる気があって実行委員になったわけではなかったのですが、1年生のとき、雨の中みんなで協力してテントを立てるなどの準備をするのがとても大変で、だけど楽しくて。それに、撤収作業で同期の実行委員と仲良くなり、この子たちとならぎっと楽しくやれると思い、実行委員を3年間続けています。
- 3 徽音祭で出店している参加団体は全て半年以上の期間で準備をしています。外に出ている模擬店だけでなく、建物の中でもいろいろな趣向を凝らした企画を行っているのでは是非学内のいろいろなところを見て回って、たくさんの発見をしてください!

### 徽音祭のオススメ・見所は?

徽音祭での模擬店や発表、展示などは学生が半年以上かけて準備をしてきました。外に出ている模擬店だけでなく、教室の中でもいろいろな趣向を凝らした企画を行っています。是非学内のいろいろなところを見て回って、いろいろな発見をしてください!

また、徽音祭全体では「エコ活動」にも取り組んでいます。毎年、再利用できるエコ容器や干ばつ材を使用した割り箸を各参加団体に使用してもらうことで、環境への配慮にも気を遣っています



委員長 朝戸 裕理

### 一今年の徽音祭の見所について教えてください

【鈴木】今までの徽音祭は「女の子」のイメージが強い企画が多かったと思うんです。でも、実際のお茶大生は様々な側面を持っている学生ばかりで、そういった色々なお茶大生の姿を、新企画の「お茶バラ～handsomeお茶大生を探せ!!～」や「ゼミ発表」などを通して、見てもらいたいと思っています。

【田中】模擬店や展示、発表など、どの団体も表に出ている部分だけな

く、面倒な会議や手続きなどを経て、みんなで協力合って準備をしています。当日は、その上で徽音祭を楽しんでいる学生の姿を見てほしいです。

【百瀬】イベントや模擬店だけでなく、装飾もかわいいものを準備しています。公募で決まったポスターデザインもとても可愛いですし、ホームページもポスターと雰囲気合わせたものになっているので是非チェックしてみてください。



副委員長 田中 美葉(緊急対応、シフト担当)



- ① イベント部局の中でも、ゲスト、ステージを担当しています。一見、華やかに見えますが、チケット販売や、机や椅子、備品の運搬など地味な仕事が多い部署です。
- ② 大変なことは多いですが、実行委員をやめる理由がないなと思い、3年間実行委員を続けています。私の担当している仕事は、他の仕事と比較して、お客さんの喜んでいる姿を直接見ることが出来る仕事です。実行委員での経験を元に、将来は人を楽しませる仕事がしたい、と思うようになりました。
- ③ お茶大ってどんな大学なのか、ということを微音祭をきっかけに是非知ってもらいたいです。また今年のテーマにあるように、何よりお茶大生自身に楽しんでもらいたいです。

イベント部局長 木村 真実(ゲスト・ステージ担当)

イベント部局長 乙村 瞳(企画担当)



- ① 1年生から3年生まで、総勢約30名でイベントの企画から運営までを行っている部署です。
- ② 1年生の時、漠然とステージ企画をやってみたくてと思い、イベント部局に入りました。大きくて華やかなステージをイメージしていたのですが、実際は想像よりもこじんまりとしていて…。その中でお客さんと一緒に楽しめるステージがとても楽しく、3年間実行委員を続けています。実行委員になってよかったと思うのは、打ち込めるものができたこと。自分たちで1から作り上げることが出来るのは実行委員ならではの、だと思います。
- ③ 微音祭のよいところは、学生の素の部分を見ることができるところです。また、木材やテントを運んで組み立てたり、配線を引いたり、力仕事もお茶大生だけで行っています。そんなお茶大生のたくましさも感じてもらえるとうれしいです。

### 微音祭のオススメ・見所は?

- 「ゼミ発表」…今まではあまりアカデミックなイベントがなかったのですが、お茶大生がどんな研究をしているかを様々な方に知ってもらいたいと思い、企画しました。受験生の方はもちろん、他大学の方や、お茶大生にもオススメです。
- 「お茶パラ～ handsome お茶大生を探せ!!～」…お茶大生の華やかな部分を見ることが出来る「水コン」とは逆に、お茶大生がもつ内面の「たくましさ」を是非ご覧ください!
- 「トークショー」…微音祭は今まで、トークショーのゲストが俳優さんばかりでしたが、今年は初めてアーティストのトークショーです!
- 今年は桜蔭会(本学同窓会)の方とも協力し、受験生向けのキャンパスツアーにも力を入れています! 卒業生と在学生とで、世代を超えてお茶大の魅力をお伝えします!

**【朝戸】** お茶大は女子大なので他大学の方にとっては、あまり立ち入る機会のない大学です。微音祭は1年に1回、大学を広く公開している貴重な機会なので、「こんな人がいるんだな」とか、「こんな雰囲気のある大学なんだな」「こんな建物で勉強しているんだな」ということを感じていただければと思っています。微音祭を通して、お茶大について新しい発見をしてください。

### 一今年の微音祭の目標は?

**【田中】** 学内・学外問わず、多くの人に「お茶大」に興味を持ってもらいたい、というのが1番の目標です。ゼミ発表や、ミュージカル、歌やダンスなど色々な催しをしている中で、お茶大生はこういうことをしている人があるというのを知ってもらいたいと思っています。



副委員長 百瀬 淳美(web、マニュアル担当)

**【百瀬】** 今年のテーマを、「Girls be Keen on "KIIN祭" ～お茶大にアツくなれ!～」にしたのも、お茶大のことや微音祭のことについて、まずは名前を覚えてほしいという思いからです。「『微音祭』ってどう読むの?」と聞かれることが多く、英語の「Keen」と微音祭の「Kiin」をかけたテーマを設定しました。まずは微音祭をきっかけにリアルなお茶大の姿を知ってもらいたいと思っています。

### 一微音祭に来た方に、一言お願いします。

**【鈴木】** お茶大の正門をくぐって入ったときと、帰るときとお茶大のイメージが変わってもらえれば嬉しいです。「お茶大生って意外と〇〇だった」というのを1つでも持って帰ってください!

**【朝戸】** 実行委員や参加団体、色々な人の見えない部分での苦労や努力の積み重ねがありますが、まずは、純粋に楽しんでほしいなと思います。

**【百瀬】** 微音祭に来たお客さんではなく、私からは実行委員のみんなに。実行委員は当日とても大変だと思うけど、「楽しい大変」であってほしいと思います。達成感のある疲労を感じてほしいし、実行委員でよかったなあと思うような微音祭であってほしいと思います。



副委員長 鈴木 悠(会計、サポートスタッフ担当)

## 学生のアクティビティ①